

事例 16

キングラン中部株式会社

羽島市、労働者数 99名（うち女性55名）



カーテンリース・
クリーニング業

会社概要

昭和58年設立

当社は、病院・老人ホーム等のカーテンメンテナンス付きリース業のパイオニアとして、現在そのシェアは全国で45%を超えてます。

働き方の見直しで

ノー残業デイ

仕事と家庭の調和 を実現

宣言の分類 (R1.6.26登録)

- 長時間労働の削減
- 年次有給休暇の取得促進
- 安全で健康に働ける職場環境づくり
- 若者・女性・高齢者、障害者等の活躍促進
- 仕事と家庭の両立支援
- 各種ハラスメント防止
- 非正規労働者の待遇改善
- 人材育成・キャリア形成支援
- その他はつらつと働く職場づくり

特に効果があった宣言

1 時間外労働の削減と疲労回復のため毎週水曜日を「ノーギャバデイ」とします。

2 年次有給休暇の取得しやすい環境づくりとして、「リチャージデイ」を設け、仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）を進めます。

宣言の背景や、主な取組

・ 残業が多い部署があったことや、定時に帰りづらいという話も聞こえた為、週の真ん中の水曜日を「ノーギャバデイ」としました。メリハリをつけ、仕事や家庭を大切にする日を作つてほしいという意図の元、全員で取り組んでいます。

・ 年次有給休暇を取得できている人もいれば、殆ど取らない人もいました。会社側から、年次有給休暇を年間最低7日は取得してほしいという意図で「リチャージデイ」を設定し、宣言をしました。

お子さんの学校行事（入学式など）に父親もリチャージデイを利用し参加するケースが出てきました。

思ってわかった!
思わぬ効果

働き方の見直しで

ノーギャバデイ

仕事と家庭の調和 を実現

新はつらつ職場づくり宣言

1. 時間外労働の削減と疲労回復のため毎週水曜日を「ノーギャバデイ」とします。
2. 年次有給休暇の取得しやすい環境づくりとして、「リチャージデイ」を設け、仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）を進めます。
3. 安全衛生を最優先する気風・気質を育て、安心して働ける環境づくりに努めます。
4. 従業員の人才培养とスキルアップのため、研修やセミナー受講を積極的に行います。
5. 各種ハラスメントの根絶に取り組み、いつでも相談のしやすい風通しの良い職場環境を作ります。



主な成果や効果

- ・ 水曜日「ノーギャバデイ」を定着させるために18時に終礼を行なっています。緊急性を要し、当日残業申請している従業員以外は、18時30分までに帰宅しており、効果は出ています。早く帰ろうという意識があります。
- ・ リチャージ休暇を取得する際に、部署内で協力して互いの業務をカバーしていく体制が整ってきました。必ず7日は取得しなければならないという意識に変わりました。
- ・ リチャージデイが設定されたことにより、従業員から、年次有給休暇が取得しやすくなったと好評です。



事業主

「はつらつ宣言」を額に入れて事務所の入口に飾り、常に意識している。お客様も関心を持たれます。

取組の
感想

労働者

仕事と家庭の両立がしやすい職場です。